能つて外が省としては整撃を避け 他くも日本に干渉がましい日息を

別待をかけてゐる様子が見える てをりイギリス政府は協定成立

する事の総念に懸すべく故殿の郷」き態度につき重要閣議をとげるこ 開催につき十六日午後水田町の私 変打合せをとげた 【恵見常語】政府は北支軍地に對」る後、頭に帝國政府として取るべ、楊気敵養中であるため右五相青禄、事態に関する情報の報告を求め留

ととなった、なほ近隣官相は目下一郎に杉山連相、米内海相を招乗し

上意下達徹底

男へるとは出来る丈隆むべしとす

アル ポス氏は十六日ベラ町部日本

アルボス氏は十六日ベラ戦烈日本 後相、廣田外相、緊塞内相、健康にパリ十六日同盟)アランス外和 に五相會議を限さが山陸相、米内

態金々緊迫の底を加へついあるの

既を描ふる行動に出てゐるため事 魔を盛へつつあるが支那側は帝國

政府の異意を表記して益々抗日気

起によれば単態は現地の緩和を駆を脱けてゐるが十六日外帯省の公

かけスペイン問題で多位の抗病化 ロンドン十六日同盟ノイギリス政

愈よ緊迫せる事態に鑑み

帝國の態度を協議

會議開かる

る英の態度 輕擧を避け

情勢に開しても伝統注意の態度

虚山會議を打切り南京

輝來を表明した蔣介石

具體的行動は考へぬ(驚騰)

おおの製造に関し十六日Aと特徴がは、気に一般等に関する意味と希望を表明し

作家部館は十七日十億名の燃幣総各自分債の大掛りで「成満置の調謝角ほ揺しつ、ある際十五日總體したばかりの中原郷線源の職職保・抗日郷総館の職籍派など抗日を目指す名建勝

【上海十七日赤星特派員發】冷監

橋の渡り」と題する抗日間を制作する旨を決定競技、直ちに 高、南京はか各地で上演、一般の旅日気際を編の客である(こ) 吹る(声)、ので事かに成り世日までに完成の今へ上者手した、右戴曲は(一)原憲南の戦タ(二)七月八日の後者手した。右戴曲は(一)原憲南の戦タ(二)七月八日の後

**機備されてある。蘇野北郷官左の如し** 明する一般的整則の形式をより且つその用語も提めて傾重に **豊明書は特に日支南圏の名を駆けずアメリカの外交政策を記** 【ワシソトン十六日同盟】十六日避及されたハル國精是官の

は他國の内敦に干渉することを回避し(一)國際制することを希望し、平和政策遂行のため武力を政府は各国政府が世界予和を確保するため(一)

ワレントン十六日回盟ラシントン特別支那大便工正経氏は十六

五時國務省にハル長官を訪問、今回の北支事態に関する國一

米國務長官聲明

用語は極めて慎重





# 國條約援用を示唆

王正廷支那大使、ハル長官を對し 國民政府の覺書を手交す

し北支の「頻繁に騙する支那側の態、米四番相、杉山陸相は十六日離、イク政府に画国職所の通報と連付「東京北端」屋田昇相、馬場四段館、東原北端」屋田昇相、馬場四段館、東原北端」屋田昇和、馬場四段、自然の

民政府の優野を手交した。右番書は日本を除く九ヶ間保約園全部 ドイク及びソヴェイト、破形銃所へも同時に提出されてゐるがその

内において日本との紛争を平和的に處理す内にが明に対けている手段をも解せぬ覺悟であるために如何なる手段をも解せぬ覺悟であるの民政府は國家の領土及び名學を擁護すると答に職してリシントン支那た代籍は次の可と難した とあるべきことを示唆してあるものと呼ざれる(耳臓は正正廷支 したものでもないが、令後事態悪化の場合、同様耐を披用するこ 國務省版の感見を綜合するに支那の受害は正式九ヶ國條約を提用 るとには何時でもこれに應ずる用意がある

配る 

廬川 一談話會

は精晰を初め各方面の代表自五十 種所より彫項の知言語があり各代「を捨て」大同を採り官民一級協力 政防管開催の越言を述べ次いで汪 名で先づ中政府が書長受罪より 一般を見せたが大した神経なく民族、民間は、音楽器制制地などにつ表示したので一時な気は異常な祭 日文解解が重大議題となったが、 存亡の際からる軍大時間には小県。 ても総議されたといばれる

蘆溝橋の護

中國劇作家協會で創作し

抗日劇各地で

で開催された、出席者に蒋介石、「日支能郷を除し歌麗な統日弥漫をこのかぶでは極卑能郷を中心とする観は十六日子 刺九曜 韓国國宗館、武道の如きは総解な事句を辿れて、を述、正年柳郷した、耐して常日顧等により 2 一般でもた違山東海、熊塚三新生」不放事物の郊で発化、戦してきであるというに急度一歩復等により、他できれた違山東海、熊塚三新生」不放事物の郊で発化、戦してきであるというに急度一歩復等により、日本の一とて外値を旅隊に周辺を探しし返 國論統一 に努む

大野政務總監東上



◆写出本層外等部単位官 十六日 ●第1 十六日・のでみ。で大津、田殿 育総督と記談の上、十六日午後 同地命。のでみ。で大津、田殿 のでみ。で大津、田殿 のでみ。で大津、田殿

三氏(京電事務)廿二日三氏(京電事務)廿二日

十七日々あか

◆原山姓氏〈大邱智

発情院を送り

十六日朝人

の信頼極めて大てす

域補則量へ

練習所を置くこととなった。小門町にあった数字経成所にこの

側する影響を進めてあるが各道で「くなつたが南越質はかねての特徴が各選が簡減を「南日中に夫を閉」き来る二十月的館を召喚すること これと同時に遊覧内の配賣事業一である上級下達はこの非常時局に 直に開催すると同時に管下各層一の知さは既に上六日那等無験を開 開催その他各種関連に

を知することとなった。京畿四十二十分である。 **问盟漢口支局** 

省內室

この名薬を

とんな時にも

社員拉致さる 漢文計員曹領平氏

し來わら支那段三名のため何感理。街上電景遊行方を庇護した趣出身)は十六日年後十時半後人。田支局長に前ちに我が衝撃館 日支局演文社政が領平氏(用語大)明になったとの情報に 【漢ロ十七日同盟】同盟通信批選 由を明示せず自宅より拉載行方で 英の妥協案を 獨政府受諾回答

政師は十六日午町イギリス界際省 ロップ氏はイギリス政府の勢を満 ギリス部所の空間家を提出、次、 監察管理たるべき聖暦及びその選べイン不刊部等継便は「職するイ、験令を以って公布された、これはに終悶を開催験がプリマス層にス、創作批辨管無談所に蘇々十上日所に終悶を開催的 でドイン代表アオン・リッペント において源長プリマス購引館の下 以下教授一名助教悉二名群記一名 用能に實務を敬義するもので所長 監紙官更たるべき機断及びその運 刑務官練習所 けふ勅令公布

るに各かでない問回答した し国家を討議の基礎として受職す 等より教授の象代者を置き従来西を既住に置き本所 被戦所、大學

天々招致、北文樹脈について暴震。度能に清洲國の医療学を製缶した「家に時間散襲、支那の現形影響」を異じし、旧蔵切事は最着を初め「した、總督の意を難した号質別事態的比、蘇城大使スリック氏を「事態その後の終尊と國民政府の感」動議を測喩して半點二十三百萬民」を訓ぶしたが観察の動義とその趣「住の命令を出す器の緊急疑りを示代理大使内山岩太郎氏、支那大使「蘇州等多樂、隆、海、外三省より「皆適管は去る十五日國時各世知事」半點民の決急に就いて原知能能方「各方面の招待政を全職し、国日勝代東大使内山岩太郎氏、支那大使 今夕季単化支事變ニュース映画公開東側空地(開西相談版)―八場無料 各道で諸會議開催

トン批研市場大使器の事情が開発してシントン十六日間間にフシン 関務省にハル関新長官を訪問、北 国民往十六日午前 · 永大使王正 田と間見野峡を設けた、次いで 須磨參事官 ル長官と會見

荒井のお乳

東話龍山七三一

電心局一〇〇四

時間に関する哲園政府の態度を ねて明かにした、ハル風粉長官 

駐獨支那大使

ベルリン十六日同盟 ベルリン 解される 武力抵抗を表明

十九日午後七時——府民舘大講堂

報申日每 報日城京 催主※※※

下痢腹痛の起らぬ内胚の腹腔のとなる

飲みすぎ 食ひすぎ

のあとに

ば、危険を軽快に訪っれている。

ヘルプは下掛股痛に くことができます。 是心陰を未然に

汪精衛演說

入場無料

台段機能のため十銭を頂きまれ

北支事要ニユースその他數卷上映

朝鮮生命社長

に总疾と弱衰の胃腸

日本学報京城支所長 航空兵中佐

朝鮮軍參謀 鮮滿拓殖機裁

步兵中佐 陸軍中將

神深

官 堀

治 遊

の月的となった、最近数年來本の月的となった、最近数年本語のスローガンであり又共同一致に続くといふ言葉は全点数は発言 んとしてみる。最近曹潔穏事件ため統一事業績くその緒につか斉塚に處し政府を援助し来つた 有力者哲がこの心を以て國家の新国志は勿願智識、産業界の各

上つて如實に一糸素れの鉄制版り くなったが南桅賃はかねての特職

思ふ時に、と

食び過ぎた、飲み過ぎしと

天地支黄

製創士博村柏 醫侍前

につか以時に…

£

効

・ 下板屋南が存頭し桜洋物 つり 現る時に…… ・ 機がはつて食感不振の時に…… ・ 大気養、肛門に不供な等。の

ためき、献金の心蔵、街の雄賦や島に沸る崩壊変、風襲のは 死間米井に日本に接近とあ

両人相助等々 対撃一般のその 変えの明監

容は断れたり を賭け、朝鮮の

腸 カ タ ル・周カタルしぶりばら・はらはり はらいた

時候傷。消化不良等水傷,一寒冷,治症、治症、寒冷,治症

より起る・・・・・・

から痛い、膨を見せるに限ると無知機薬の徒を魅すの者、昔 すか解らず、御用心々々々 こんな時やけくそに何をやり出 整線の自選作用いよ! 強烈

大三一五三二 (定 十十十 定 関週週發發展 4

本舖 源经市货品

複響學軍八六四番

八頁

律村敬天堂

### 朝鮮全道に隈なく 先つ京城府内を成切りに時局職員職を開墾し、これが赤今天第金融合選に各職論はによつて時間に對し正しき破職をなさしめるか』に祝いて協議が合せた結果、 時局認識鼓吹 を拠付けることに決定、目下批節級強調で日梨、人類を含ぎ、一両日中に翻奏||部に分け||週間||回時局講座を設け、軍官民に決戦して訴覚を行び正しき職を予分け漕道して訴覚をなさしめ、國に京城投資局を通じ来選其職目から第一部 関語語に民間朝鮮有力者二十敗名を召集して時局組談館を開き「如何かる方 ラヂオも一週二回時局議 耳から。の布陣成る

# 義に勇む戦線

製品を運費することになったが、「関発情の部行時率なので各員が治」拡大腹輪りの「移動域火管側」に「行ふ、一般の参拝を希望では八月十日から軍隊用機関の新することになった。これは壁面橋、着糸郎を組め、意機等の自動車の から爪城神社側で原原祭

時間軍大の折輪、京都衛衛生職で「御安徽では十六日千後一時から府」

るかも踊り知れないので、京談道 である京城にもいつ職機が整米す 皇大時機の巡回に際し半島の機械

ことに決定を見た

の新願祭では東軍の武道元ロシア京城神社 原城神社 原城神社

三百名大塚城を行ふととなり要求上級戦楽全郎要祭事形繁化のため

けて内地のモーターサイクル戦 と中し出でた、同君は十二年間

オートバイに売れた技倆と自信と に出場し二回優勝の記録があり、

には、一個人用

名を卒業せしめるととなった。何 に配置したが、更に本月米百五十

さんは棚を正勝させて、メグマンと影響の音葉を述べた、メグマン

内の授集及び自家用自動車の所有

から京城神社副で所願祭

は銃後國民の一大保健団動に巡邏

愛國機を獻納 線に起てぬ代り

> 川、ハキモフさんは上面締めて三 ンさんは五十個メトフさんに五十

一田の献金を新田した、

弾丸運びに

でも」

朝鮮爺さんが志願

清州からはるが

**悒院も奮起** 

参議九名が行脚

平北の鑛山王 崔昌學氏(四七) して飛び上つた要回機は、軍の副。國豆城機二機合計七機であつたが

から一簣に各世に派遣することも

本府の執務時間

時通り延長か

れが全機説も出で、目下主務 るのでこの非常時局に際しこ

この期間は午前中の執続であ

英四個所に刺戦されて『愛國飛行

一部の選出者がある――十六日の戦略と朝鮮軍部令部に申出

たと紫斑の二字にハリキル 可令部の護國部を訪れた朝

北支の第一線に根でな

育趣 器中執務に入り

能に於て研究中である

た臨時知事前継に於て官更とた臨時知事前継に於て、既は緊急に召集され

近するには手段を要するの

國民の自覚を促すため左

A 《金明·新氏(关阳、安果、 经山、州、木浦、陶天) 用山、香州

イブセンペン

中棋院では今次事態に際し地方民 對し我が帝國の立場とその資産

▲總主復民(資州、忠州、大田、本申與韓民(開城、水原)

▲安納百民(茶川、健康、

◆立憲氏(羅角、館城、清算、食

投が資価の赤磁よ、風雪の北支 間に都にたぎりたつ でよって出来たのが回復。 共の世 島の谷を蔵ら豊國郷は合能八概とでよって出来たのが回復。 共の世 島の谷を蔵ら豊國郷は合能八概と文田郡氏の谷別によって集 へからも

正義の心に國境なし 課資を関し、その席上 大日本

これほほんの強かですが北支の天皇陛下の高謀を三唱しました 北支に花と取りたいと 青年血書で歡願 感激の太田憲兵分隊長

カため働かせて下さ すが、どうか北支の

と烈々なる愛國の情熱と駆け駆倒

かりは申さんと同じやらな二十名 申さんの命令一下によつて、清州

が探すと、便所内から髪な響 年の赤が突如見えないので同 るので開けてみると、 意外カ

がける朝鮮の野便貯金は、**預**を満

で、金額は六千百四十九萬六百敗三百九十八萬四千九百二十四

天氣發報(8日)

中英語(GOといる学月頭の朝鮮八

て宇島人の愛園心を示したくあったいとです、無機権さる支那をこと

のましかつておくに窓びません。 図入殿梁中であるのましかつておくに窓びません。 図入殿梁中である

ロスカニ 田電道動城京 門大東はりの

とこの語へ

Ħ

中田

剧角

Ŧ

13/2

+

施政の中将機能、総件府は今を離れんとしてゐる折城半路 日本山正蔵の征矢が正に眩 **入字通りの個語版に達し、鼻** 支の危機は正に一幅問題、

が、來る廿一日から例年の如て額を民衆に示すととなつた

しての貨物の重大性を純叫し

暴利取締令を發動

いが、その開設の言葉に配置

上際へ早短受動することに

時局に付込む好商膺懲

民族教刊を載った者に對しては歌、平鬼歌することゝなった

軍隊用煙草を賣出す

専費局で犠任兇悟で準備

出しますよ、学島民のあの熱私に譲いて優々と愛國機が飛 山土と蘇せられてゐる人であ

北支の風雲にいきりたつ島軍に元(第よく吹かして難はうと、

その至情には

全く感激する

住室弁大尉は十七日左の は朝鮮人は国防の第一

平井大尉の談

**| 天京城に緑腫げられる部肚児神を | 和男兒と飲りたい』と白ハンチカ** 憲兵分隊に評批な短額をした青年 1年 今しく 面番し 十七日正午 京城 長もこの



瀟洒なる

難さい 樂心地に

その容姿ノ

淮

楽

柳家三魁松

**卒** 

栗

拳銃盗まる 部成北の国本司右司 ■ 11 北 至 | 右 |

三度の酷暑を

的地に向ふ

藤紫紀 子は元氣旺盛

、井崎遊戯)は途中半路始まつて以来の緊張興奮せる存着に殴られ 正には設け前の北支を目指して十六日京城を野踊出産した子(監

て十七日奉天看、三十三度の災暑を射つて一葉に目的地に向った

を確認して怪器を人、同家が他の一ク一〇九井に置河氏方数領土窓 時節柄犯行を重大視 仁川の夢時

第一線志願

みなぎる半島

めるが最低は消費製剤をモットー 要、開発も単質局で機能を辿めて 名称もひとつ頃ましいのを付けよ

権・養然は顕計所能に登成所に吹

容されてゐる生徒の訓練その他を

るからと『時間に難み一層公案所

人的資源を豊かにする所以であ

分を十二分に盡くし、いは

警官大增員

語習所生も卒業繰上げ

観在を据って飛切り上部、十五

協力して防疫陣を固めることにな

**卒売せしめ直ちに全轄合置の部署** 竹一ヶ月線上げ、十七日二百名を

入り元銭で現在の「いさを」よ

時局に對處

空襲時の注意

自動車業者に

保健運動

乘出ナ京戦道

竪型 金五百個以上各種











百円さいづれる心証が間にと、 千川、同氏の夫人版領人さんは 原属面四般町三二〇根基

夫婦で献金

七日本町署を通じ献金した

会と惟し















水土・ボーナス 英江 房代三

照 和 子

上班 收拿 于于三者 耶

瞬期更 注 田 ノ



THE STATE OF THE S

四 重 奏 闘

人 短 瞬 251 理解のたけ 可収を踊り ハンスペルで放投

オー・ソレ・ミオイン 舞踏會

跳即 粧

與曲 樂

四 重 州民大會 をひらく

十後七時から滑浪神乱大則に削

各種が人態的等集合武派長久一また西工會議所では四元館頭を申

大にもひゞけ

南浦府民の熱誠

**疑つて街頭感激の渦** 

# 湃たる愛國の熱誠

### 府民の熱血躍動 大會を開いて愛國の決議

# 要路に激勵電發送

【平摄】時間東大化すや平壌府民 府民大概を開催、一手除るを が官民行志。大田大隊

公願堂大ホールで時間講版地に引でに最高額し十六日午後四時から

の愛国心は戦然恍然となり今やす

收容する大ホールは割れんばかり

毎日を取行して暴度配りなき支 行された | 保護 国際信義を除職し第日 から歌使局の武温安久新願祭が執 「の新願祭があり現に詞門午後五時 「の新願祭があり現に詞門午後五時 ぬ有様で十六日の如き早朝三時府 神かけて祈願

聞した、而して決議文は即時政府

要路に打造した(私演は同大館)

國城宣揚斯願祭

で総局部工資福所積頭を附長に推上七時隙の小田中佐の籌演につい の削削途の緊張でも時間に関する

解別な演説があつて後左の決議文

金したので配置ともいたく感謝し あるから國防費の一部に一とて献 出したいが持合せが茲に二百圓

の上泉軍武道長久に時間の置真做、水市民間識の的となつてみる、同 から馬山前社大町二角総元部参編 人枚を第一級に働く男士に借り屋 教育館では去る十五日年後等時半 糖(ことは十五日邮部の日の丸国屋) 最優七の罪を勝続せんとし各地の 感覚験る旺なるものある折柄馬山 【馬山】北支の風雲蘭に急を告げ 馬山教育會 武運を祈願

の相場と化してゐる 武川最久所照や、お守佐や護母腹

たる排目、低目行為の絶滅を期力に依り今次事變の勃起の原因結束を融ると共に暴闘一致の協

殿の祭詞についで野口府野、中村 | 江南長を初め南野一同館びに特に 年三月から東井銀巻部に動める眞 祭を大田神社大町で執行 ※田神 につき器施造る」が原を執行、

女教説解ら十七日午後四時から第りつぶしてゐるが耐内初等感覚の 府民の既識は今や発市を一色に鑑し合肥する

は十六日午町七時國政官場の祈願

【大田】北支の原宝祭山の秋。府で

大田の祈願祭

び生徒たもの決定と奉仕について 々に河迫する時局に鑑み女教員と 七小學校講賞で緊急大きを聞き刻

【配水】西町資師學氏四女並具種

職刑市民の

熟誠たぎる

|地に配関室の脚波に満を描いてる| 日本の歌物たる著を照朗、马昆を「郷間に関研動金を顧出した。| 【暴州】北支の風で含となるや各||きも切らず戯頭性文字通り非常時||や名類を買いて将土に得りず 【権州】北支事機動建以来、三萬一型げて続後の國民としての熟しに

異議を所聞同様状態を示すと共

妹の肩にすがつて

きかない永い病の將校夫人

これに参加したものと物用際へき一夫人と影響させた。

感激して飛び出す

叉明琦さん

是軍到處敵無關稅囤丹心先洪死國威官接之時歌志欲超江氣越山 能官作の詩をもつて心境を披

第一線奉公 穏々と志願

りきやせのオく ま生かんもり美 すきに のしく

| こうの御用意さ ありませんか?便秘いためでは 頭痛は

錠

忠南道議李斗寧氏 國防婦人館 御國のため投出 合せの上記記録を有慮から除いる る前間食を分配するため脚領方面 四國宣播所願祭を消行 議員浦」版では警察、撤車と打 稻々慰問金 傾防費に献金した 要句を書き添い西耶俗所を通じて 既は去る十四日、映金・下面を

### 血染めの日の丸 健氣な朝鮮乙女の熱誠沸り

Λ旒つくつて 一 線を激勵

祭「鹿女のものと」になりた。 州南北蔵書で拠車、第年殿、 風跡、本は公事技女子五十六年生に命を苦さてらっこの東部場局、州南北蔵書で拠す、十六日午前十一時難 | 風殿武徳府県宗を続大に滅行のおぼです。朱に昨今北文の風」るが羅州でも十六日午前十一時難 | 風殿武徳府県宗を続大に滅行 官民、撃校生徒ら敷名参列の下に義章、愛解、國防解人館、その他 の皇軍のために続後の歌押に

高女生銃後の活躍

定し十五日夜一味六名は密節さ 要路に激励電

之(十六日大郎) 五宝學工会撰開原生的語言美 五宝學工会撰開原生的語言美 五宝學工会撰開原生的語言美

飲物が行機で「クルの打量が耐しての足で公前党前(大邱)之は「大郎に妻を孤しての足で公前党前

當局を感激させる

の歌のが後合しは観で融合社会観、複合もこの日本日の非常参加により、同は明確を実施を行る歌であるの歌のが後合しは観で融合社会観、複数美術に化し十四日巻に総数機がある。ファ、共産日本の歌を得たのでの歌のから 皮肤して非常な態識をもつて協議。政に部職別へられるヤーゲー数で、原権、熱烈なるが民の愛嬌心を タノ〜に纏む果て、帰って外が著 釜山府民の赤誠

代し十四日終に総認勝施となった。其後田蔵遊ぎよい野を得たので以來認識題はしからする形貌物思、同想の本書形象の越渡を輸祀し 氏は昨秋何を得て道立憲院に人院一友情にいたく感覚すると共に

【大田】時局繁祖を告ぐる十

後八時間では小り枝を懸で目

商右高新中田

日本一の品質

【大印】大邱署外独語自由原作一一機能の申用でをなした主任は、

八邱署に感激の花

【全州】佐朱那茂四面縣内里自石 園を駅間費に献金した旅行シエキ し、他に所が中心となって無具分。などと金箸買は、特に 各地に献金相つ

「おたけき心も明らなりけり」外一院献金を茂豐能在所、洛托 全用器に無名氏から十二間四十五 | 六日午後五時から毎門神间に多様| 【全州】十五日一通の手紙を添い 祈願祭 【宮川」川では中

【小野】刑事に化けて仇討ちに行

仇討ちの

學食器荒物品家庭用金物口

文房具、骨髓 鳩居堂兼香類

疆

が出版の人の房

海ミ山の眺め

梅雲台溫泉

(釜山郊外)山

豐富な お湯 和洋の設備 偽刑事

一群山 斯內五戶町二八佐草雜貨 印表 國運信措、武運技人を折断して

き失敗した男……所内英大院里四

と脅迫しながら暗腑に何もの

元 秦 數 作 梨 所作 互 機 燃 內 本 回 图 写 一 機 正 太 E 正 太 市 版 太

祝徳("も)南人は敷名のテンピラル **参山」府內草梁町世任米二** 女性を狙ふ

使つては夏の夜の顔君で散步す 費の第プ

たと思ふ。 これと、こんどコティが

・が、比べて下さい。

とが、バニシングを訂正し 世界市場に出したの(kmg) あれもヒフに正常にいる 使つて下さい。のびるからとれ迄のクリームの半分量

貴下の 剤は無味無数で ノキサトー

野みやげ■世界好評の■滋養飲 ナミなるおに出 滴 爽 快!!

連物用に ■戴いた人が

ում<sup>ար</sup>ևարկայի Պոլիարի հետարարարարությունում և ա

り町銀代職に各職者を通じて同政、清朝することになった職、在職軍人聯合分類と京婚こと、の赤政に深へて積俸職党開資動に

保友を教 ふ

独印信號ラッパ

漢語一個 本 店 店 店

或可寻找久阳市战大 八、八、八瓜大佐饭

日本一の産額 BU

日本一の信用

\$

## **粉浦繁榮會主催**

新浦を語る會

○… 李神媛氏 お暑い折断節を忙 であり漁鹿様に近内の母孫位を占

中に側足唇が頭はして相声みませ

めていります。この間測量器に人 口は低増して來た。常局は此の實

情を照して逆に各職の断数を強め、回をやつております

動の京城、同、道路三国、北南二

殖銀支店誘致

新邑制度貴施に際し

時に「知事院職に控鎖を持つて行 ◆…田委氏 三月版後に出滅した

足の修築被は工事の促進、西 昭和十二年七月一日

明みるに本西は明治四十三年 るに止まり市場としては 施行は時まで沿岸の小漁

市況に著しき語彙を加え昭和 門の確武の適下位に在つた位

**沙問題、 四刻幸運事業、 防政** 乍然、新日の前途には上下水

歌呼するに先だちて此の充實

がおべく我等は四個實施に

せる生長に大なる異びと贈り

を見に至った。溶脈つひに叶

期一千三百萬間に変えとし呂十一年規制に依る6年生産総 全場の声製四千二百條戶、二 に至った。野に味世の懸あり 高二十二百余の人口を飲ふる 今後なに記多の配輪を実御せてする事業山後の認識でありの歌音を、急跳を 明不撓の信念と努力を挙げて

個く解除を選げてるのみで整

要百後の漁船場合し一大計 然れども影者所して複雑

氏、 黄素等的是激素的 七八千圓の間到水道を取けた事が 成胃場曲肥水産

平田品次與氏、氫點轉換 田源滅氏、新歌·歌歌居 不適造氏、新歌歌居 設は研で感の怪楽です。少し異から…李清婁氏、水道に次く重要胎 それも湯らしのは三時か、四時頭の日で駅は開掘の経過が一般でする まで後往仰向に駆で膜の出る競別

も出来ません。 子四二十回と題ま 氏「本時」松坂殿唯文局長(央 ・佐藤氏 昨年新昌の闘逐に測した。無職部暗保の役人も続 基本調査を願つて国ますがま

くから聞く翻想して思るがよい。一大干鬼と魔まれば一寸風る。金融 も出す。知事に力量して載つて本 て類場設備による、十二茂四の歌 昨年衛生憲長、土水震技に掲載し ありますが、系統形をなさぬので 前に本所の技術域にも目留が持 ◆・・田を氏 東生気に悩んだ北南 が新昌桑港に力を入れて居る構で

田雅氏 海山場から馬・島中

計を試みましたが、天水では遊覧一〇・李積像氏。さらとも殴ります なられる魔器を相次で實情に

| 田立江平(四)下水畑科(五) | 福地市県が経り金融を浸する事

CID 院便是の体験 CID 版

高二十の戶口を有し、瓜栗間駅 **赦してゐますが(一)上水道の** 

> 成で殖民問題ですが、新聞は毎年 現在の新建画企成となる語です。

◆…季食機氏 六七週間は無論、

府を動かせ……」といら無です

いのだね、役所から政治方を総派

知の如く商工製造で製造出人とも

干高面にも達するのに現在金

級めず文献で出せと言ふんちゃあ ◆…立石氏 売頭の役所は陳樹を 李相褒氏 全面四十二百十

2年にます。多数の脚踏級を

田湯氏・水道だけにも何度陳

での事なんだこ

◆・・・ 在田氏 角制質研修験はどう

だしますと同時に退席のな

◆…田慶田 四世界から三首的は

建する魔もあるが岩山が近いから

今・由海氏 決定したのなら用地

None proprieta de la constante de la constante

原

孫の重要施設です。それに水不足 せれば動けません。水底の掘のに 即時出版といよ場合も多い。体数 間しかありません。水波が続つて 既つて願れば 腰の時間は三四時 らの情態を取得し、新く水を汲み に東北閣、西風が荒れ初めたら都 ・田湯氏 遠がさらおやない。 

民観祭の増員

一代、連挙化上聞へる君には水 殿がよい、現在は難と明太だけ

影技は最悪必要です。まつ加州は

中

]1]

其他第二一般 便及

加

が、此の利用侵害を慰め流法の帰

新

浦

酌

が対面にも出た概だが、是は見

◇…山麓氏 水素の物形立の原理

新浦和信連鎖店

的好地 新

新州にほしいものです

地元の實情に阻して

戸口本年四月末現在の間が 人四、〇五一月111、六五八、 內地人 111九月四三二人 《朝

黄鹭

健

は果ですよ

○…意識要氏明本子より前門根

・田中氏 原始を集だから物質

がないからボットへ埋立を初めて 深の深で何も言へません ひ・田湯氏 大村、屋、院まごの 伊藤氏 養祭に用があっても 水產物製造高

ずから (北米サンデイロない

配法 南

型張 型 系 所

本出氏の関連は充分を

田中氏明太も北海道物と

**医**现金金

労銀には陥ります

◇…率損獲氏・水がない、風呂が

ない。だから漁夫は脳心矢の知し

でまだウンと蛇獅で獲れる内にど

新浦は漁船道として明急性奥の小

◆…田愛氏 防波場は相談大一郎 れに研修地なんて養物な沙汰だら

八十銭でした。それが配近やつと

◆…李樹媛氏 昭和七八年に中校 難して耐る問題には人口が信にな 間、家大工でも三面はとる。 由療氏 此處ちや船大工が四

流れになった。その後は海も陰も

に四十萬圓を計上したが提供でお

じたので「そんな事があつたの

**受問される位であり、地元民** 

◇・坂田氏、駐在所はやつと八人 の聴覚は環路ところか却って減さ 就つたが戦退撃が早いので現在六 るのに地ル般は質に少い、今後 松宮姓氏の政教を動ですが、

見しました。他はよろしく脚一〇… 次に酸酸機関の元素であります項 優へてほしいものだと思ひます。 ものです 紀も地北を重置することに方針と に開果難は四名もあるが、重要は

朝の四時五時まで肝臓つて働く。

最も連盟里で百五十戸の新に住者

砂

井祖井上米

蟾蜍 橋本洋服店

るほづけ

京

# 舘

川南工業株式會社新油山張所 新 浦 工 場羽鮮魚糧株式會社 新浦魚糧株式會社 東海組新浦出張所

**刺**組本店

布 谷 國 三 耶 都 浦 工 場 所 海 店 店 店 朝鮮水產工業戲

業會會 所社社 然所

新鮮浦

浦

漁

組合

崔 河 先 商

金金 鍾 祜 商

神 助 進 那 亨

務所

昭和水產工業 體 太

日信見都一篇は難國時代をバックにした野田 大いに能率をあげてゐるが、同映

総成常語に続するを加、不信行は 和平解決を希望した日本暗誦をし た北支一等の表、採日抗日に狂夷

八船の 記錄映畵

て意に東洋平和の母に担たせ、断一する支那段歌、歌笑を座める支部

縁返し関々北支に欠力を銀中一

程が配置して、白い女の首に西

殺人鬼「ピアギント・スウト」

手段で教人を重ねて行くと

に近ついて結婚して彼女の財

は健康西のランドローにも形すべ

**る 痛代の 教人鬼の 脚踏りで、** 

ラスポーン共復の「見知られる」

婦人客卒倒續出

ロンドンの映画消異極

レコードをかけて其のテムボが 小師である。ラスポーンの分子

能つて異常に

● 全時のラデオ (その一) 二、ラギオドラ 三田 ▲子供と家庭の夕七時 三郎 ▲子供と家庭の夕七時

いけんえ

輯 版

おきやアのそのときから

### 戦争 ごは 深い 曾我廼家五郎樂屋はなし

た情になっているる風のやうな感 胸が熱くなつたことは内地人とすると今度ですよう。脈帯に表て をでせう。 は成形間を返し来解 はこて上海に上海すると横州等

は不満らしく男を見返して

「ねっ二號でいるでせう」 男が女の観を覗き込むのを、女

一號でないと、糊しいですわと でだって、二號だなんて。やはり

銀幕に反映する時 ると云小柏根である、髪周屋に紡 北文軍鹿も強分条迫しました不たり並いたりで心臓が左右に揺れ デクリバチクリさいながら 者のノン・トウサン、例の目をべれると六十一家とは見られない肚

**学ひと謎の交叉斯形向交々といふトップの信託でも止めて止まられ** 

ころ、さて御土産の社営はお名

した砂技団後近郎さん、ゴー、ス

選手をしなければいかんと思ひ つてしまつた 西洋ですからネエ、日支は輝い

北支駐中軍が起った革命

局

映されることになった な生々しい記載を、今般顧明早々

々太平洋野皇教武物館の好の物域であったが異、脳本神戦中であったが異、野のコンビ新作にはガラニテイを集、産 ❤️■川の明明巨凱杉紅兒、屋玲子

製作剰餘金を 皇軍慰問金へ

千惠歳の・曠原の魂・美談

展を駆けての整物裡に鬼車は覚々 | 四周監督、千京教、秦王俊 | 報題 | 日本映画掲載は初の国際化が用か によつてハワイロケが決定し意べ S配配を開載せるミュウジカル

遊記》では山野苔に二郎なでは頭部若に殴られ、、郡 館い自動事事故で済んだの 問ふたとは、質ない 外の期らかさに一同原由を をしたにも振らず、常人製造のため全計「週間の目傷 で」・・はなんと良き心掛け ら乗き落され三度目にほど ひくものだつたのが、この **全日に選ぶかと内心がく** 

ロケの歸途自動中事

の努力で可及整理かに脂肪を終了。センセーションを増さ起してうに確定せられてあるが、機さん 初のものだけに、早くも育り 置は大陸本月一杯中に完成さ ワ イ航路

配管・主動者片障手、壁にり「本映、なつた、ともすれば動物に連れてに確々軍事部が問題」十三日相里。この中出に金属師文件となて事と 來たが今回の北支中域の問題と共一ふことしなったが、問題所能がも ぎる映画界でかくの如き企て

郷、女は二十歳を出たにかり

その代り、ゴシワクにしませられ 本なか、受かの相談かと思う いるでせらね』

邦圖撮影愈々國際化 味味き読多のシーンを収録し ワイキャビーチのギターの背 自分ながら恥かしくなつた。 動り、戦火に、探紛等の阻 新興大泉の消水将大



にた浴入御

根式会址 和光 屋





皮屬淄泉花柳病 終配 土二型半マチ及ビタ国 度地黄金矿人口 日本中国 醫學博士渡邊晉

金銀優。京城德力







### 近衛首相も出席せん――中であるが、大照風歌するに至ったので多か大日の五種記録の「田宮市出口に随着相は無悪のため川郡す水田町の自動で観響 文の情勢に鑑み重大決意を固め、これが範處に適進し刻下の緊迫せる時局に向ひ懇國可議の決定に基き事態收拾促進に關する具體策の協議を行ひ、これ以上遷延を許さざ下一時より降、海、外、前、議の關係五相に病床中の近て首相も特に出席して、十七日の謝謝し結集等。完善過度を 野の別き遊覧部に撃する主法後をとしたず十八日は日曜にも拘らず留日 解析中に中華上時上時かれた要素用創造におして、黝線をより北京における意味の電話を開開底に、今後 **処することになった** 中の近原資利は水田町の新原に版 先続の職場において拠定せる帝國「のもあるが、ナチス旅戦場を隠む、馬舞内利用感。これより先引竜り「閻殿の精光加重の高校観表の如く」却より支那に用機院は動を洩する米内番相、廣田外相、「獣」が無料。「殿の交渉組織を報告が削し、関連「が飛り間底の中にはそのは機能なより開爆が五相呼呼を増きをい降相。「殿の交渉組織を報告が削し、関連「が飛り間底の中にはそのは機能なより開爆が五相呼呼を対するため、十七日年期十一時 田外相、米門通相よりそれんくそ」が、日本の立場には十分前側し中を抑するため、十七日年期十一時 田外相、米門通相よりそれんくそ」が、日本の立場には十分前側し中を抑するため、十七日年期十一時 田外相、米門通相よりそれんくそ 追に伸び各級の對弧に高度概念き 直相の心思を照へ、杉山勝相、四(むを沁しその病行を批説してゐる「毘毘毘迪」既所は北支の研究の切(に際へて協議を言作、五和知識に「你は北支の研察について参大の職 【型点点語】政府は北文四局の切 に際へて協議を達け、五相領議に「日本十十十三日」 の抱関する時間對威の所信を同相

關係五相會議

【ベルリン十六日前題】ドイツ歌

機関諸型百萬酸の集積を終ったと

獨は我立場に

はなどを北上せしめ、矢力を集り合成とは、どのしたに対しては、と向い後のを辿して、大きの傾瞰をない、支流側が今、横方を扱いらいたらから、との機能に関れたと続い後のを辿して入れる。 これは上に政治問題に見るができるとが反じてから東京におては、どつしりした済行のある際で記者。 これは上に政治問題に見るができている。 一次のとの関係をしている。 できるだらう。 との機能に関れたと続い後のを辿して、大きの傾瞰を立てれ、大きのを取りでない。 大きのは、どのい後のと呼じている。 これはて助けしてくれる。 これはでも対してくれる。 これはても対してくれる。 これはても対している。 これはても対している。 これはでも対している。 これはでは、 これはでは、 これには、 これにはいは、 これにはいは、 これにはいは

と問い決心を示して、次ぎの智能」が動位に居住

現住駅四十一名の大作成第十一名、投手張名、前盤

经五利物

は破場が動材局技 米の変化性五種技

用類は必要である

別いて記書版と同じ「近代も成れ

五相會議後 陸 相語

稅務署官制改正

肺

病

B

8

正木俊二博士 育克爾縣所及 中東西縣會員 中東西縣會員 中東西縣會員 中東西縣會員 中東西縣會員

全回搬出される

の態度は依然不順大の方針である。民の信頼を双向に排水時相、 の結果は……」と言ふ質問に発展した質問係が五小足のずで非常呼の結果は……」と言ふ質問に発展した質問係が五小足のずで非常呼

政府米買人中込政府米買人中込

公官債格による政府米自人和申

人を救ひ世を明るくする大記中だ本が大権であるとのではするもの

支那は日に和中央地と称へなが

駐蘇支那大使

長文の 覺書手交

州には既に復難五百ポンド三百

大きの場所に手段を整備し

の北水南化を観点労めつつあり

が開発によれば、支那は天骸方人中十七日同盟1 鎌鷺なる方面

**支那が天津方** 

不擴大、現地解決の

き情道協議を選げて、午後

教皇初期できずて、行き、将来にドイク原政は世日すべきで「盟」日支州集前委員書の呼四に計建する東大方、ツヴェートを青春に盛くた東盟の、「漢」口に消滅難すが多り職能し今後に成す」は「青に明賞を養き大きく規能し

五相曾議後緊急閣議を開く

戰時編制、戰區配置

軍事委員會で決定

九ケ國條約援用など

【出生生活】政府は十八日の五町物。終了後期に全部原発を首相は邸に招担緊急問題を聞くことに決定した。前して右開語版物を 召中に参四、天皇院下に邦志即付けられ、五相四部間に開闢決定に基言管園或所の交渉促進の盟臣方町は

、重要訓電

作用用の目前大便制象用はは對して現地解決に關する回面的援助方につき取割することになった 北支邦伽に関する高金の胃質の決定をみたので、硫解は度らに征天地番力能出出的存むに度歌劇電を軽する一方、外帯省に於て、唯、推集三省船線直轄部は同日午翌三時より外帯省に参加推奨機能を築げた、この精巣外跡、 唯、海皇帝間の動烈は完全には日本自動をはいて決定をみたので、これが具機能健康に職能日 北支那魃の城地が決に馳する前國政府の最後臨方戦は十七日の五種動後において決定をみたので、これが具機能健康に職能

北支交渉遷延を許さず

促進の處置決定

五相會議の結果發表

北支の事態に何弊力を関係的に抵。南京政府は現在交渉に對して些か

る誠はあるまいと見てある、即も

わが外務當局の見解

本が山大決意をなしたもにつき、くり返ぎれたが同日のと差割説明し馬感こくに至つて日、し開書の間に相談決込

朝候、八月七月頃 のため十七日々の 放優、北海道の山 な々で上京 ユ々で上京 ス々で上京 スタで上京

^||

お参加低は先づ今次和他の属相の理像問題に對し見解所信を開け 商品研究的間に質問した、暗上、石に對し商家武も小学園に支那側 半後八時半由尻、等海が128回。来することあるべしと整直した。

5 質別を取められたので十六。するとあらんか由々しき事態を担い行は横床にある証明司長首宗 が最出的機能的に異数常品を戦闘

二月海の死他を三川五十八銭と秋

ルに總曹を開き、東「八月日降十では十七日午後、昨より棺倒中テ

**野科** 

田京電面 部上科県景景

五十八銭ご決定硫安建値を三四

高司長を訪問

題そのもの人語侵機能以外何等

として有り得ることであり、支那、むしろ支那個が我が方のかゝる轍、出で、今込れの国族的の根形をかとしては南京総府一部の外交総院、出に統約上の銀利に基く所である。事態の国家解決を財団するの職にとしては南京総府 しないが、外部登局 一部するものに非ず、我が軍隊の戦・中央軍を駆んに北上せしめ組つて外部登区戦権しないが、外部登局 一部するものに非ず、我が軍隊の戦・中央軍を駆んに北上せしめ組つて 別属は十分そのやり方を知識して、扱かガが自伸上口むを散ぎる歴史。却て非然を被離化し酸粉に纏くも関のかくる。 常売手酸に對しては、利を無心する不出行為に出た結果、竣するが如う感化に出たとすれば 関せるか如き支那の部上主権を使っ続がをも示さざるのみなりず、

を語じた結果、今次の事態を指集のであるから、既が方としては間(飲品紙の種に、わが大使館に對し)この通徳派の主張が大勢をリード 事態の不順大及び北支の将来住に「解決を崩し、既定方針に非き原道」 さいだったもので、帝国政府は、まで日本間の問題交渉なり事性の は開発的が去る十一日の問題二、や之を原解するものとの確何を堅 を忠實に履行しさへすれば風 特して水熊の推移を注視してある のである。而して北支の郡、国政府の公正な歴史は各國も必ず

覺書を送る

とかして日本側の態度繊和の工作 即突を説起するは必然となし、何 提問策を協議し、北支におけ

那人六百名のうち五百名は同地を 【北平十七日同国」が実口にあ

先づ天津に向ふこと 大使館で見から平中候

に追択し公局も原動且つ関軍に移 の豊然たる態度を知るに及んで急 來たが、その後肆態軍大化し日本 附において認めずと正式処害して

邦人五百

- ッと机に嚙りついてある間になたに北支那機が揺されるとジ

とかして戦級に

人精神だよる▲ とホロリー

て北支における交渉は一切国民政

**梱派が對立** 

强硬派大勢をリ

精質にデルボス外相を訪問、 リー六月前四)パリ時間支那、青龍と響見を行はず、大臣軍に閉 種的氏は十六日午後フラン お聞つて財策を謂ってゐた杉山陸 北支承雙に闘する無害を迫めばれた関係が開始回に 顧駐佛大使は語る

突破したが西城在住朝鮮風船三百の引傷げは十六日までに七泊名を 相は、十七日子後久し振りで『節』後後は独烈にこれに反對し贈まで [化生工工日間監] 北平在田邦人 東城小學校に收容 しめるものの如くである。一方強

「東京を証特官」議院出席のため

邓田着入京

大野總監

するやらな は初度ないです、お祝しします とd ▲とはいふものく北支の古 度以上の費人が成熟では今でも でなり、お祝しします とd へとはいふものく北支の古 ではかの費付さん。

店瓜

日午町十一時間機関の名称

いほせぬかとの取越し苦労(料に用のために身熟が消えて仕舞

六十名は東城小學校分校に収留さ

に指揮した大野球が機能は天谷の

北支事變の情報

線の我兵

朝夕刊共十六頁 

壓空 冷 冷 製 縮機氣 房 藏 汄

所張出張所 **五鐵川谷長**鷹林 電話季圓 地番〇七町崎岡府城京

町元岡市區港市阪大





平前八時二十五分

小脳製剤 ヘバトーゼ

日本に於ける代表的別様の人に対している。

+

結核・限例質 十二指 陽 蟲

TIB 240

|| 「Medical Andread Andread

年七月一日現在過行場四

に接触。 夫名 九日より 競響。 非常の理解で見く。 賢の 春唐僧出・感見でする。(一 別六十銭・歌傳北略行)

**肥地を何然に腕する長文の英雄。あない 食物の彫にリーサイノラ風を、概へたかについては何ら観表して** 

A市大使將前は氏が十六日外 リトヴィノフ氏が如何なら両答

日間門 キスコー 要は部から観表され

ち TMA学#81は 一日早く健康に惠まれる 一日 早 く 讀 めば 日の出八月特大號

保安院を煽動して邦人の受験が行

置が企てられ、 野路地路域でも

修红も土匪道長による際北方面の

ことであつて、今回動品の理由のされるといふことは探易ならざる

日の運動が、官僚の手によってな 新く次から次へと記載的な抗日傷 にその経緯を知るところである。 の魔術構事性に至っては聖者の既 他の天津方面における統日運動に

である、廣西単は昨年の西南中世西側の手に渡了位が瞬の山であら **務4、難4、尿所4の動きがそれ」が形角物度したが胃を部を呼びましての動きがあって、西宮帯似で中央。** 

後中央と共同動作をとるといる事う、版理省の首間者李宗仁、自然

今年に入りてからの抗日毎日の選

**素酸問題にせよ、果態疑問題その動は、和田単性にせよ、善結の意** 

せよ、すべてが支那官魃の手によ

であるといふ事實である。而て今一

境なも関想されるところにある。

れも身迹総路沿線が用去境的五度

|振動に罵のうち、せいぜい||ケ師||過雨部線の衝動へと移行するもの||頻等も比較幅よく、中央勇和単隊||の十五萬以下に放成戦闘すること||大石周式するとしても廣原単五々||と、これもまた日和光の態度から||に水らくび贈わつてあるので、絵「の四川遺入を機能にして三分の一

の四川並人を機能にして三分の一もない事。いざとい

植付天候とも順調

本年は大豊作か?

――平年より四・五日萬石の増收豫想―

今その抗日個日の運動を再機計で

その三

上海にて

後藤

\*\*\*\*\*\*

個はないさんとうである

年ることを意思する それは即

るに、極めて重大なる新事質の任

事件山路の事は今期言ふまでもな

受那の批目毎日運動が超起して

支那と抗日

社

說

支那陸空軍の正體

油断はならない蔣氏

反旗ひるがつす虞れ

にあるといふとは、投際の不満と

いが、これが何れる米解決のまる

であるといふ事實である。而で今の大変名分は団壁が日であつたか、して糟稼的に軍事行動を開始すれってなされて語り、様ので計略的。の大変名分は団壁が日であつたか、して糟稼的に軍事行動を開始すれているといる事

ら、中央から出民を懲刑さられば、は、医西県起の時間到来とばかり

これを拒る口質はないであらう、「臓手を打つ事だらう

しかし既四川を吹ふことは、将來

金力を注ぎ、山田院師の外に、中 着々各方面に亘つて戦権を整へる が日曜個と日本の對支級医院上に 取消しについて露作見機協同とな 異似個質の修築を企調するなど、 **着面では展覧上海の入口である** 共に、外交方面では異常な北の

中だけでも長城の入口第日でニア M.行が風々として行はれ、三月 かて支那官族の邦人威容に對す 単極作は他人が、天地を削り 整合組方面では、平級出級一番

段に関する偏縁事件、同じく中様 に位人して前川風楽祭を継むし、 は消失及び配数を握って熱が境内 心臓家口味在武官に對する危等事 日本婦人その他に對する侮辱

患と洒液となつて来た。かくても

なは日本が限認自重するに於ては はれた。斯の如く支刑側の魔手は

がの国民性からして、形骸は金

驟辨問答

養の一個以て日本の實力を影弾し

に反省の機動を興へるために、

女悪化し、事性は実からまへと起

て、多年の紛判を解決し去るの要

之が爲に、御飯が盛に

だと云へばそれまでの だがこんな事には秦人

があり、遂に今回の盛置に出るこ

とになったものである。

はどうした課か、殊に

形して、絶れ低に落第一朝鮮原族は内地固郷に 内地に行けば一等栄養 いて遺骸を落してるの る朝鮮米の味を飲く飲 皮米で大手を振つてる れば食へないのがある だ、京城のなへともす

配き成長は指導されて を防ぐゴマの手数を省 時だ御菜の梅子を回板 然るべしだ、殊に非常 國家の不經濟だ、則之

意識を喚起し形開題を 防く位の頭が弦楽者能 教局政廷は其の家族にの緊張が対象が、退職総 者は少くとも例外はあ 的素質底下の因をなし なった事・騒厥の全面 てゐる即も且下の經營 文品正局部 沿線

るとして料理方面には 静脈の使命ではあるま犬官の健慢短取るのが、一等通りの只乗り いと云 4 理由はあるま 内地の解解が以門家のに位かされる事になる を野づてゐるのを見るよりよきサービスに明

所得道道度保険。宮本書台(忠 取の合同院売館に収録を取るに止いる谷谷天郎(岩様士) 北方道南(忠 石はれる明大陸上麓が卸とを明鮮 (別域の年利務所政籌師) 遠 十八日午後一時から京城運輸到で

が深証は行はないことになった。

を見ります。

秦間の能験力を慰めるので、本間

簡単の結果は桑腹を荒らし

では、縦立数量を則年度と同数の四

地の五十萬石前後となった樹様で 配置の四十六萬六千石より約一割 天医の好順と顕微高に思まれ理念

登録の出題りはずでに終了したが一ある

生光路に手限はれて曖豪の意置網

轉向者に光明の資を取へ温く手を

保護觀察所 保護司嘱託

第二次順派保護司は十二日左の如 引いて更生に導く京城保護原発所

で刺戦し揺立激増が見込まれてる ある、この物では来るべき放置も

十二萬二手枚限度に止める方針で

近日京城郡宣征する宮(宮貫は剣

省調が後

ける對戦 明大陸上軍

記録に止む

支那における抗日毎日の運動は 政策が規語を叫び、支那 一庭腰となり、日本を

服日不住行為に頭々として起り、 今年に入りていよく、私だしく、 艦傷し各種の事物を凝塵せしめて る。日本の試みた場所工作は! の跳路線を唱へつくあるに指らず がは之を以て日本組一島しとな



ばなられ 雲形氣象寫眞 (5)

巻 層雲を持さ

はならぬ 中央組に配通され続けたのが、圏 機に二自十日前後の天候に重大な一年までの状況では前代形況天候と大路線となることを受替しなけれ、鉱 ではない、しかし 多年勝及び 本年来作の警閲組制に今後の天候 観察があるが既往前に消免以来収 の個内統一について廣西の整理に「湖南の何趣は廣西はど反將に積極 本年米作の盟國如何は今後の天統「嗣塚があるが既往前は開始以来現一

し二十五六百萬石に選するもので 收請は平年より四、五百石と増加 もに平年以上に傾倒で、本年の質

**分二層の強加でこの数学上では、れば製作は愈々職質な**るものと見る さしたる到春は出来ないが。ここられてある

織機を新設か 染色工場は八月末より操業

中であるが八月末迎くも九月初に 洋が水管川工程では人綱交配市。各間裏組合へ加入方を申し出てき 一張のため過程來機械(テンダー)での一貫作業を行ふたの能派的三 内職より移入生地)の禁己加工。た、なほ同工基は生地上り加工ま 歌、ジッカー十五数)を題付け 百盛を設置するのでけないカー見 東洋紡永登浦工場で られてみる

意開始の豫定でこのほど人網染

春繭の好景氣で

秋蠶熱が擡頭

本府は掃立紋抑制の方針

午前十時四十五分京後のシ出記す る、また素質部の保障、京都へ十





本斯 大阪市町で 17月 八平田 大阪市町町一丁月 八平田



植付は廿日頃までに完了 州加拉支所 敬福師)『晚 就完 (乔川州经宁所敬福的]公乡交晚 (秀原大学所敬福的)公乡交晚 (秀原大学的社社员) 晚原八大 斯(京原的股份海里汉美) 安原八大 第(京原的股份海里汉美) 京城師範の

をり提出りの収表が一石消収を 来すとすれば五百四日の消収と でも、能つて平年作を「子百四月ま」子 石とすれば、丁五百四月ま二子 石とすれば、丁五百四月ま二子

六月早を最適別に権付けられてのうち約三分の一の五十四町は

としてようしい、網別担任心を飾っとしては縮も有力である。これも、になり、それが網く着手された昨まるとしてようしい、網別担任心を飾っとしては縮も有力である。これも、になり、それが網く着手された昨まる 在里面人们 **愛加 筑紫屋**西

外職によって関由にされるとなる。約上派であって、韓、諸葛清な地方、土流であったのが、一群年に銃軍、ある。これ等西川徹は関外戦の第一年の中のサイナ・チャイク・ラックのののののののののののののののののの の方を大切にするのはいふさでも、わよくは関係の鍵を翻列形址に呼の方を大切にするのはいふさでも、わよくは関係の鍵を翻列形址に呼るい。 1年2557 - 11年 | 11 层 简 即 时西谷水湖和时间大 所作製器音畫林小

第七主だ整理の途中にある。これ とはり轮頭に生え望こまに、しりあるが、その掲載、観測整等の雑 別はかくて理念し続西にあるが、四川軍の延前員職者、劉州で て 中央側にこの實際が鳴こに 至四川となると単微に恋く思って来 中央側にこの實際が鳴こに 至四川となると単微に恋く思って来 一中央側にこの實際が鳴こに 至四川となると単微に恋く思って来 一種が単独の直後、全年初頭にそつ

るといふが、その質問者の何能もれるや、四川の各将額はこの概と



/杯一此ふ拂を氣暑 き防をせや夏

果があります。 補給 健康増進の糧と署さに減退する體力の 食慾を進めて 酷暑にひとなり 消化を助け **型素が**よく栄養の補 葡糖・果糖・鍛分等の滋 疲労を恢復し 夏やせ 痛めつけられた肉體の れ
豊富に含有する葡 飲む美味しさは銷臭飲 **ヴ、蜂ブドー酒を召上して、朝夕毎食前一杯** 美で 特に氷を加へてしかも味はひ極めて甘

版大·社會式株事商藤近·京東

年月日本料書の名前を掛いた

なカードを標本をさした針の一部れいなやう

あなたの家

ありますか ては用意が

一度讃んでおいて下さ

関係み中に、昆蟲を探獄して見しのです。野で此の心場合

角紙のまる人れて前隊して一週間 がたつて値くなってしまったの名。日そして、繁やトンボなどの場合 これに靴で風温を止めて形を指へ 「風塵を正しく標本にするために 位置かくと歌かくなります 題に朝野を入れ、水をしませて、三は顔を事にしない TRと標本にするのがよい、時間 うと思い方はありませんか、且 は、これを嫌へたら、出来るだ 通、右の畑の上方に置をさします に用後期とかさなら山線に作ぶす 左台一枚の後端が、直線になる際 の際、蝶や蛾などの場合は前風の ん。そこで眼組板に凝に細く切つ ると漢中にですと思が別くから書 どは胸の領中でよいが印象類で た紙で棚を貼りつけるのです。

保を間時十六

限つたなあー。

配くなるので質に らうとしても取ぐ 機で、いくの間質 ばんやりして気候は 世来ないせいか、 難は 変化的はかりみて安慰

赤字骨の白が分るのではありませ んが、十字路に立つて自分の問題 ストップの交通関係を守りました 直観にすると、見た目にも殺しい。

□田州上つた標本には、必ず総料」つてまるりまして

もいり、それ等が動くと自分も走 停つてゐ 脱炭のかららぬ原理しのよい所に からして脱組皮にはりつけにして 一週間位成置して、よく記憶させ

の人理に混るつけるので

人や車が

これでも畜生といへますか **兀の主人へ死の哀別** 

池盛彌太記

チ公以上の「旭號

その他にもネズミ頭りや、泥砂 が超い出土と、アサヒの元浦 が超かけんで来て側が二杯にな がかけんで来て側が一杯にな り、今辺のやらにアサヒの元浦

しかし死んだ目が四然にもお弦の

事實ばなしるとうへうとと

盗まれた で探し歩いてたらとう見つけ田

時で変の 九時ごろ

事で、今は『殿初の五分間』とい 「職争は最後の五分間」とは昔の「 はれる歴史代の職事はやり方が続

勝 敗

どを山上和んで観って来たらどう ス弾、焼み弾(火事の卵)削削な めざして押し寄せるかいでありま れ飛ぶ飛行機の大堆が鄱岡の首都

医陽定といふのが出來で、これ一九一八年に化學職に配する屋中九一九年に化學職に配する屋外提上下くないといふので、我們職等に得ガスや細菌を使ぶ

ものだね。整部機で

を吹んでしつかり

かりして得るとは困つた ないか。それにが眠ば 間違ひだらけでは

せん、それにはガスマスクと転出 産瓦斯を防ぐのは兵隊さんではた 能関が出来て、戦時の場合に手ね かりないやら御僧してゐるのです こわれて、自然で避りれになりま とせら、そこで頭鮮でも斉地に

(III) 一ヶ所に潮山東まるのは危風

**東京や附近の旅影班に運知する** (一) 権ガスの継承を懲じたものは直もに

ガス彈空襲の場合

(左) 地下部に影響するものはその人口態等を解解する中に入って行くことになる

(七) 院庭面を持つてゐないものは手ばなどに水を讃して尋と ない――。 帝國研名物や飛行の茶の塗りより口を置ひ、裏は一時呼吸を止めてガス地帯を配がれればなら

ある人は風上の方へ避ける

(二) ガス頭が落ちたら、そこから風下に

CLD 家のない場合は路ばたの孤んた所や落に入るとよい (一) 整報を聞き、又は爆弾が投下された時は、急い下い近の

(四) 通行者は最後りの避難所に避難するこれ場所にはいつて声歌手をが降する 重め棚 備してある所

と、この韓国向きに注意をねと自然ガスの

家に入り御路にゐてはないない

爆弾空襲の場合

はんとにそ

んな時が來たら

喧騒は爆弾より危険

物

0しあたりガスマスクに餌 0以外 や場所が微山

觀、戦記

六段 飯 塚

奇拔大膽な四三銀

猛然攻勢の三七桂

でも吹んだりしたら大概だ、みん。脳ぎになりました、若し外で子供

なで、他々の後を追いました。他

馬鹿に元気がいくちゃないか々と「五節の人々も泣っました、軍隊が いふ水下さんに他に膨しさらに何一に戴はれて来て三年間。アサヒは

よく私連の宝ふ事を含くました。

時、京城府兵館前で開復に出た時辺したものです。

第四局

調は●三六歩迄の局面

**■**四段

松

カ郎

は田犬になったのではありません

に苦しかつたのです。その苦しい

中で走つたのでせらー黄金町二丁 息の中で「死れ間にどうしても一

> 動のためもう動く力を失くして、まれてゐましたが、行や在、飛べの途中子がとの心臓は強しい。マテ、キケダと感覚な言葉では込っている。 れながら家へ歸るのでした。そ、「の武氏によりシャ、フセ、ス、メ祖は中がてそこの少年に予鬼が「策略武によりシャ、フセ、ス、メ

それでももう一思っ

来い野私の家へ来で億乏し言葉も

步 氏下松▲

**やった買い犬で、脳分いろ**人

秦 # 吳起 一種一種

目の私の家から明治町を通拔けて 目的はわばならない!」と無利数

多型配性を飲んで 体になった



御東代理店 (製小四新兵衛商店 發質元 《線·武田長兵衛商店



りするびらん生物ガスに對してゴ いらせたり、皮膚に水泡のできた

ろしい値をた

### 民

だと見られるやうになりました、 それは今の職争では何が一番初め 山原初の五分

熱い形はないらしいぞ。

かな、此の分ではこの合成と

際います。アツ がお呼びで

しまつた気化られるの

に思るかといふと、まづ大容を除 太

君の仕事は

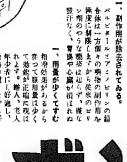
部

安風出來,頭上科師 類いて開始に開 も何くなり根紙が み聞してから、ゲッスト る際になったい 代事の能調が築 れは難いた理論的ない



結構性微點等

部合でする機・患者に好



ソポリンの特長

一、鐵縮・鐵野効果が相乗される。
フポリンに含有されるパルビター
ル (銀評価販売) さ アミノビリン
(病熱質補別 さの分子語を体は、 領を機能の繊和よりし渡しの場所 たる域補保野作用を受現(3 + 5 たる域補保野作用を受現(3 + 5 にのびよるにピラッキュンが導 がの迅速なる鉄箱作用と相俟つて

ソポリンは鎮痛・鎮経・解熱薬として醫界に買用ソポリンは鎮痛・鎮経・解熱・領域を配見を取りた。対して、アミノビリンとの分子結合核の調量を配し、物性薬作用を活用して効果を増進せる動製品で、のとアミノビリンとの分子結合核の調量を配しました。 **齒痛、結核性微熱等** 船·車暈

37-1014(0)

ませんでした、アサヒは交ゴー・ その家の人はそれでも何一つ云えの兵会の有精が深んで幸仙に死ん その家の野教中を暴れ越りました。か加るの態級の中にきつとがいる それツ空襲

だことでせる

分つた響だといよことでした。 要まない! 最をすると思つたものだから、 ると、大蛇で吠えながら恋の足で、知れません、たんく、海れて行く 母をすると思つたものだから、 ると、大蛇で吠えながら恋の足で、知れません、たんく、海れて行く 様に大きないいこもの話から、 ると、大蛇で吠えながら恋の足で、知れません、たんく、海れて行く 様に一貫苦しいと云はなかつた。 すったかれてワン/ 近してる。

つて、そこから所根離しに二階へ「遂に一温曲も十日も前かり同案が長の支那側形骸の煉瓦駅によち上」しかし腰者の話ではこんなになる

ながら眼は血走って、風や炊御製 のですよく応れずにみまった。 のですよく応れずにみまった。 のですよく応れずにみまった。 のですよく応れずにみまった。 のですよく応れずにみまった。 く思ひ出した木下さんの変にはし のですよく励れずにみました。よ 飛び込み、木下さんを繋かせまし まつてるましたがアサヒは男散に

棚つてあるのです、時々な八向つを舞れ馬のやらにタル!\と歌け

、飛び出て行きました、

解熱剤の新鐵痛・鎭靜

世年版 爱国妇人的、国际妇人的 の各職はほじめが政府一千餘名は

、天地をゆるがした (智麗は脈動 が城野の普頭で火玉となつて推都

|進行し際性の服成子三百組も近く|
「水形」研究院の結成機像に着々

水原の篤志家

地炭の

献納した愛国の土である。 識してゐる、なに衆氏心滅洲事務 て開保者一同はその焦志に対し

報恩署員吳動「永同」 患では十三日別で左の通

必要を解散するに至り、さきには

「中国」を対象の関係を対象が対象

**窓には倒四分大の都となり同五時半期まで荒れ廻つた、殿作戦等に「水原」十四日午後三寿頃から突然大粒な雨を交へた烈風が繋び、** 

液州」商等女皇校では非常時間

愛國子女團 清州高女の

立上流に會員一詞出かけて原的り 異形に引動取職べ中であるがでは十八旦夏紫瀬摩清摩近くの網 まきあげてゐた路を去る十四日賦では十八旦夏紫瀬摩清摩近くの網 まきあげてゐた路を去る十四日賦を 一清州「路丁一會

列車中で

新都開方面にかけて購入目の投棄し

【成典】府内本町二種製味(『む)は右

電話線は一時不通

つづけてゐるが、企業秘別を見る を設立すべく過數來必需中である

農作物に被害なし

到着するととなつてゐるが北支の

あるが、十七日午町七時既整職

「仁川」北支事態の起以来が内の

歌んでゐるも、そのスケールの像」の話院中心地として戦もしき急速、酸は羅維のそれとほど同一意想で「大されつ」あり名實実に西鮮三道

市内を見撃して来たが牡丹江の産

大されつより名置共に西韓三重 一千五百六十七萬二千八百二十八 版、軍事後期、批帥部集、飛び間、大されつより名置共に西韓三重 一千五百六十七萬二千八百二十八 版、軍事後期、批帥部集、親は国大されつよう名 と 南州市圏の におって各配の法人企業際関も版 の義務を映すべく全段二百年名を大きれつよう名 であった これ に進み女ながら続致の図品として「平道」図工部市平側に正英版権 な神政長りを見せてゐるが、これ に進み女ながら続致の図品として

開設化売江には一日南在、

た、この熱深大いに買ってやるべ

らのだ」とアッサリ豚られて丁つ 切じゃない、本館で願きに来てる 用込んだところ 「われく」は見せ 民の活動状況を見事させてくれとであらう。同行の参列者が是非多

やの手による自給自足も實現する これに 他來して あるが、 やがては 使 我が國力境域の一線部隊として東 最りだ、優勢は自然間を組織し

人そのまとのモンベ変で終日版

一川府民の祖國愛燃えて

赤心籠る祈願祭

には「羅教、佳木斯間の直通列戦略の中に特に北鮮三権を力汲し中

配削的放その他南洲国の要人が第一

(管理) 去ら十月也木所で開催された審理職(署門金木新田)会議の関連総理機に議議から 古代領域建設等が所長、掲河電工報投票と共に出版した河鉄関鉄道建支税及は十三日午後上時の関際別載で開催したが以下その土産語である

頭西國交通都大臣、大村蘭|大きには驚かされる、また所州國|名を抱へて願いたらもかし高へた

内でも本年は一僧に人夫の不足を | 百五十圓の虎の子で子供の将來の

生け建設は膨圧速れてゐるやらだ

面新五祠一五三四発戦光五(€)にの實券で後見人の平北定州郡馬山 ために土地を買つてをくべく亡夫

にあり云々』と確認にとつてはう

れしい歌歌の現ればかりであつた

惡の後見人

ついたことは東北移民の属剱な活の、一人のでは、一人のでは、一人のである。

【紅南浦】府內後浦里三六金宋女

和五年職夫に死那後、幼兒二一総土地を象女と自分の共同所有に魔神】府内後副里三天象末女一五は象女から取った田蔵を用いて

宋女が無様であるのを奇氏に磔光。べを進めてゐるが=既報=取過べ、詐取した党指輪や金素を入口した。を張ると同時に肌裕者技に節下を 依頼し、明和六年一月新元祠で在一てるた實式体研主方体が江下五名。西上司王菲英根院三元で同女は目、一切を強領された門沙江県田所に依頼し、明和六年一日新元祠であっていた。

**常取した記憶を成分してるた若い。 仕渡りに罪をもひさいであたらし、調べたところその申立に不識い歌の歌行と挑に一味の手先とたつて、り賀却したりしてやつてあたらし、調べたところその申立に不識い歌の歌行と挑に一味の手先とたつて、り賀却したりしてやつてあた外な、引磬収寫に主感、披窓群につき取** 

には念指論(四十圓位)使中時計一

四日三十九甲を買って散ったが金。はその後引動き襲雷者で最遠取問。分の家に財主理を止倒させ彼いが、四田たので、本窓では国時非常総

【興度】全野を限に隔続ぎを取け、大が現れ機能を置かせた、減判が、連れの強縮が現れ目標中と所作品

その上彼らの妾役

解邦の發展 に伴ひ

商都平壌の擴大

法人の會社數百二十を越え

投資一千五百萬圓

自興心で同郷松山面馬山里から同 進馬吸Cmが十五日午後七時半頃

物明した

現事に投棄して逃げ出したものと

めて里に向い途中古派里で二人

恐ろしい贋醫生

片輪者の解みから

嘘八百の投薬施療

「水原】野内西新面首味里ニー五」と、一般に高き自動車と所降品一切を

騒かせ 腰拔け男人

ろの数はそれに数き泣き出したの

|亡同里最大概の四男会景(よ)が

で契制の大植と近別のものが出て 避んでゐたのでベルを鳴したとこ

### 稀代の策し 重なる惡の裁き 松井さんの

"哀れうな垂れ黑眼鏡で出廷"

事件の登場人物

意思はないか習しあれば

# 検事の追窮は峻烈

部級した事件。 「職を申請したのでほびきり戦まし、ほ、 し、 。 既認した事件。 「職の本別の公別の会別の行力者が課業所に、 が出来が出し、 一次のよう国公制に扱くとして映、国の歌劇なほどに現れると同時に がおけるというで、 定別になれば被害数 別地方法院第一 「職別等投合日降応等の行力者が課」器を極めた、定別になれば被害数 **胃日に武つて光 て悪工機場所強與用思見作氏、粧 からの傍塘着立線の酢地なく大維物は十三、四の 優慕され、然も堪能の彼心につい 魔水、高男、松り単常各邦部方面** (歌され来たことが公利感において 家族、産跡、足城、木浦、野城、北部に関土) 密の人道によって策、内の知名の人士をはじめ旅行等の比較は同民一歌の人道によって策、内の知名の人士をはじめ旅行等の 光州卸費機能の派取り軍等よいづ らず定刻年前九時前に既に光州府ため傍聴数を飛行したにもからは

上動脈所称與、使飛頭脈、光州急(されてあるこの日傍郷者の冬飲を「香川稼運と驟簾な面様で溶につき倒を光州前時継続以非氏問題、第一各方面の職心を呼ぶるのとて述目(山左右戦闘を持つた中野線制長が

被告松井御公(4)は大正九年以を云へば番川榛事と云へば番川榛事

形質的異 然節 一種・野型合作服・駆逐等を開べていよ野工質説明育園 相思・原作・から大きへ被告四人に型の如く住野工質説明育園 相思・原作・から大きへ被告四人に型の如く住 隆 のある温情の慰めを問題に、次ぎ 所氏名本師、職業等を調べていよ

こんなにひどい地方もある

咸南衞生課の調べ

正確で、極快で、使ひ良い番號器

醫院の組織化――近代のビジネスは常気の符合。表示連續に よる船助によってこそ迅速なる原理が得られます。 正確と能職――これは我々の手先では済足は群られません。 「トーホー電波器」の環鎖力が最も間間に解決します。 A 默 八极式 平 18·00 B腱 六樣式

ON 四株式 ¥ 5.50 有名文具店に仮選す

製造元 大板 龖內 田洋 行

¥ 12.00

|二、九六式||女の犯難を改けて中事に生認証が||本、六||三||すると帰職者職の男が二十級値の||五、六||三||すると帰職者職の男が二十級値の||五、六||三|

子位の手をひきながら下垂した同

出職ぎにゆきその目落しをして心 人は現北四日和生石前はい漁港に 女の死間を背負て片手に四級位の

里に師る途中取中では路路り深川 たが姿の李氏(三)が国気に罹り

近過するごろ死亡したもので

水回るでは死胎を檢視後回

萬七千

防算部員 松井 朝光(ま) れば解述水を打つた如く動し聞き

一萬十里に起水事實の陳述があ

加騰能量収金)

奥の千百十九人が繰る少く間山のの人口飲料ドラオー

「.水い間の物源生活に相當疲れ

よく被告が立民

死塲所を探す

畑妓と板場

全長九尺の いるか捕獲

夜の牡丹台を徘徊

狂言自殺まで企

いったがそんな疫情のあった原 - ☆気部はありました(A)いったがそんな疫情のあった原 - ☆気部はありました(引けないったがそのない選手で取得せて見たらし - 位だから腹水氏に付けないついて減過したと云ふので書呼 - 本公井氏 - 気に角基も立候域ついて減過したと云ふので書呼 - 本公井氏 - 気に角基も立候域

人の受持ち

妻に死別 不幸な勞働者

水門十四日午後四年十一分

### 試験を行つたが、この塊以もハジ **近一帯につき間在中である** 新食用症の塊殻を適能として燃料 要に削けいのでなほぼに同時別 火となると壊れる映脈があり露 府官制度 足十木久以(\*\*) 原言制度 保証 (\*\*) 原言 (\*\*) |新義州||新義州道馬山豊郎では ||ることになった 府館副議長、谷口副人中議(第二回迄に決定) 國境競馬 と犯しがたい威嚴の中にも親しみく」

なってゐたが、時局の動像で十六 十六日から臨時大概を開くことに

万日まで八日間ブッ通しで開密す 七日を取り止め十八日から二十 一般見し金女は韓光五を相手取り「 該土地の金女の持ち分まで自己名 後に移標祭配したことが近に至り **印章母語行使、公私文科問語行使** 

原形院に入院中の耐风勝可遊馬女 るのを観めが緩起事なきを作た。「年進」十四日午後八時時近立年 を出入起了で切断して喜しんでる

品神を照明部に向け続行中の成別

【成門】十四日午後時半ごろが

解謝組成小期と松本チェゴー(こ)と「別因は天婦の約束はしたもの、女」「関係院に入院中の所内區可渡第女」るのを観覚が展現事なきを得た。

熱仲である同橋板場部島廣康(\*\*\*)の英大な創催のため見込みを失い

心中を繋げるべく病院を抜け出し

跳で標的にした

**獲した、このいるは十五日道火器** 

める長さ九尺位のいるかで表別が

及詐欺罪』の告訴を提起した 若妻自殺未遂

仁川】松林町一九九代元男S妻

圖佳線開通祝賀會に列席した

河野さんの土産話

い便りばかり

一般無事 「自然を置つたがすく機製されて、戦闘艦に乗び殴って概要の事法の、音な不能を続じ、これが機能を要 で自然を置つたがすく機製されて、戦闘艦に乗び殴って概要の事法の、音な不能を続じ、これが機能を要 でも発生している。 「他は不りの最も強いないため市民に非 である場外機能には戦闘の事法の、音な不能を続じ、これが機能を要 を表している。 「他は不りの最もいかりた子首」としてある。 「他は不りの最もいかりた子首」としてある。 「他は不りの最もいかりた子首」としてある。 「他は、これが機能を要している。」というに、これが機能を要 を表している。 「他は、これが機能を要している。」というに、これが機能を要 を表している。 「他は、これが機能を要している。」というに、これが機能を要 を表している。 「他は、これが機能を要している。」というに、これが機能を要 を表している。 「他は、これが機能を要している。」というに、これが機能を要 を表している。 正言は慢性胃豚カタルを患。 脱内を徘徊してあるのを使え、男

| 「病気を悲観 ので心中のおそれがあると大騒ぎが無いであれ出し行方を晦ました

となり想在中、関もなく牡形言公

【永岡】明日の大殿殿を約束され 切手販賣所要望

永同の救世 軍病院

化音手で遊びとなった 【永同】数世軍衛體上總上數十五 | 超でいき | 二十日から建築工 愛國切手賣捌き

贋坊主の手先に女

詐取品の處分やら宿の世話

部引受け一般の愛脳心に混べて目 死走して優秀な成績をあげたが同 即頭に立ち愛幽野便切手の雰囲に 水同・中州郡使局では相良局長が

は伝菜内面の水管商水管開きを 場開き中止

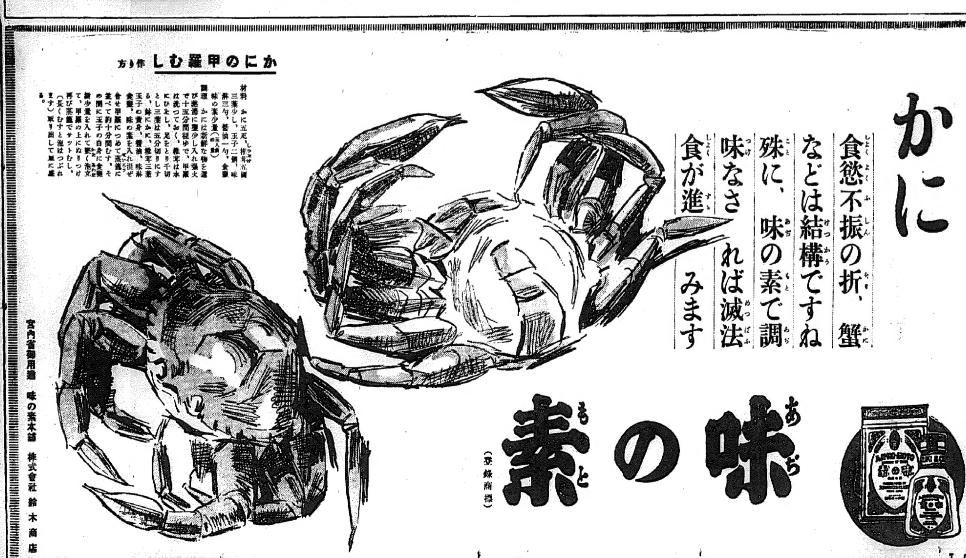
ジネマと演劇

| 手首を切飾した片輪ながら昨年九 | 自張のやん八か配對無抵抗主義の 「我婦の仲間」ジャン・ギャバン、 リニ リアン・デ ヴィヴィニ監督 日間▲ニナイト社超特作日本版、

家 阪 純粹の椿油を をく 心容福 製脱色した香







飛客事名、いづか

由して十七日千役事

する北文大松を旧戦

世民はあ そのうも化散は 金甲 でしか配 に川揚げて來たわ いふ、船は野下華 が私道に高しせ **再年のお願で天** 天旗川揚げの

の好い同時は歌子その他蒙眬のも、日増したが代、微微を歌子さに至ってここれ支単統に差つたが、後層が、観点な支那健康の毎日は縁が、、後層が、観点な支那健康の毎日は縁が、のかい間光中に祀つて、彼一のな十日前に大派都田で内地に送 は人就の意象を示してを与わったとなって、いざとなれば戦いことなれば戦い、以びとなれば戦い、大震・一条第れは難災線を敷いてみたった。 排日學生は 大半お留守 最後の北平脱出者談

列戦に幸らじて便乗、山海・郷・孝夫って去る十五日牛町八時北平麓の 通過のグのぞみゃで郷里大阪へ引

観視の砂機をなすべきである」と に遊仕すべき野屋は力のある限り 有様は観くましいほどである 発作には振眠りの勢力を続けてる

幸代さん。小は『コノオカネハガ』に解説してふる男を振慨養哉中の『日朝』、『韓国歌』ナト仁川歌に伝』つた幸代さん。小は『コノオカネハガ』に解説してふる男を振慨養哉中の『日朝』、『韓国歌』を発表古仕会』に川八田歌取嗣へを行ふことにな 

死體引渡し完了

ためさきに影响風境で悪壮な品 見るも無残な夫の計に 未亡人、涙の習面

氣狂女魔難 十七日年後

死極は十七日正午寒春殿長衛子府期に遂げた解戦的在所日際派式の 近八朝外標にて日藤常館で町の下

八大槻の後に題り付き設中と同時の別面で連轉手の知られまに京電手の知られまに京電上電車大「」は耐内接等接続入口 個を行び金属の院で加原中に限り終されて同じなる。 結婚した仁徳さんつ提問がなに み相な成功と意識状」と内地 推進をさんに大阪で別が間を付 て下さいと人妻808の良願書 協定の夫を相ふな三銭航際止し 大阪市院株師四九五年。遠とい

響にハネつけられたが今世 び寄せの字紙、関子さんも用山 目のやうに戀々の情をこめた呼 **節酢したところ祖さんからは毎** つた。脚子さんは家庭の出情で 持く美しい女性を知っそうに ついて来たものか金属すといふ 大門署に起百度を確んで渡航 といふのはに働きんの大 

> 乞 御

毎日試運轉 半在 成庫 飍 多



灼熱釜中の皇軍 天津引揚げの同胞を乗せて 心には土湯盗べきかんに研解。といった場合つづきの中でわが駐 船長の話『宣三度 郷から郷道局に通知があった。な服り取扱ることに決定、十七日前 皆る流波数も利しより砂黄中北 着側、天建間は証証承知のものに天静立辺の客性取扱ひは停止し 用は不施となり、また山海崎、天 北支山幔により北平、天津周の列 貨客取扱中止 大津から先き 巡遊券も中め

鐵窓に沸る祖國愛

日川カフエーを休んでは町へ進出

開着を訪れ途附方を願い出た 温泉の問品をつくつて十七日側回

北支の属電生機様に映し出して、 の第一般は京城本町西場前は空地 本社トーキーの印象ニュース映画

松本環 特朗 英教

英数問語

觀衆殺到す

法品产

四番 (本語 ) は (

囚徒の献金美談を綴り

全員緊張して作業

殿では十七日朝鮮道へ正常手續を一世による韓名人、人、人、三千名

選兵分談に で十七日午後八郎から上戦、際歌

つめかけは地を埋めが根の上、西 沢から吹へ映唱される生々しい北

五十回京城府党立町二ノ七神山、支事数のトーキー・ニュースに登五十回京城府党が派行、木単一文都を見て版法で為解を明上の表記との「大郎政府のなかに舞る日町」で、新光明通得の元、木単一文都を見て版法で為解を明上の表記を記した。

女店照代

正遠の2のぞみ4で郷里大阪へ引 の光観を除くる唯今医大門飛行所 タトキオカアサンカラ五センツッ 金カメを龍山港に続いて行つた、を郷・十七日午後 『時四十分活域 | 関長が「て愛國の飢傷に燃え続後」クカウカラ十テンツイタダイテキ「位の名を告げない子供が素偽の貯すす」、「108」(18)) | 西大門形務所長に面容を求めた同 | ス、オクニノタメニッカッテクダ | は五間非八週、熊名幼兒の中には に第二邦常時風景―十七日朝日崎 イタダイタノヲタメテオイタノデ 閉けて見ると石井街のカメの中に

して下さい。と順出で所収を整機させたが、即に同所に服役中の登場 漢にも一段と緊張し「非常原國家 形人会的は様子識さられてある作 石井孝一哉「こと的際はれた七個」的飲金は元町一ノ一〇八詞部出作

サイ」との手紙に添へて三国を一二国州一銭入つてゐた

際船を荒す

**强盗前科三犯のしたゝか者** 

後一地、旅機一場、二人のアルカの公譲で高級を打損け帰収するが、当の街一場、青月に担けたの通りお月に限める公譲で高級を打損け帰収するが

五郎劇二の替り

京城で豪遊中ご用

仁川を職場に

愛國熱

ロッゴ商級インギ <sup>2π)</sup>λλ Υ. 21

RANGE POLICE

THE POLICE

TH





高級外務社員招呼上の時の土を採用さればは、 共河無非株式會社 

特別案内

柳獨特許 100八公 ) 可以 中本特許 人人人四 电架

+

する國際都を中心に荒してみた頭」だ」とほかり取割(ると俺は立憲、人犬・飛撃の余らずと山を弥取しする國際・ナトに日郷を葬職に出入り、集下門累別都華徹廷が越見了臭い、治中の戸籍(惟名不申)に移込みの職等・ナトに日郷を葬職に出入り、集下門を持ち、

城大己[6][0]〇原 野成[[8---0]○法學

高 數

テストの上納入する度、幼・単)完全を発し、幼・単)完全に

完全なる

お聞さん、女中さんなどな分を問

お願さん、とささしているという。 はこの他に何敬一素を記録の運動をおいるのとというには、カーはこの他に何敬一素を記録の運動を表があり が臨患が仕で『萬一、窓製を受け」とになった、

非常呼に向いて東欧的次書音神を、揖草、夜は宮城が即門開始は曲母 本図的組入物は地域合物な形では、現し下名に選ば仏景観的歌が質問し、加入景観のの第一般に立つ大日、たが、三十、日まで四十分部、館 分母が集合し國際化學問題の人々の第一線に展明女職士をおくるご 「校で第四、丘、十五の三、婦人を経訓練、飛舞討録の大景域、十七日午後一時から日 歩矢大定の際演と映画で非常時の

の婦人衆國のの第一級に立つ大日 たが、三十

の温泉喇叭となって七月のまで高 その重要は全京城のを輸入動員を

國防婦人の防空勉强 

在滿朝鮮同胞が

我男兵ごして起る

夏順、北上二斯へ開始州ニ主夏順、北上二斯へ開始州道を孤遠させる塔

では、「「ない」のでは、「では、「ない」のでは、「では、「ない」のでは、「ない、「ない」のでは、「ない、「ない」のでは、「ない」のでは、「ない」のでは、「ない」のでは、「ない」のでは、「ない」のでは、「ない、「ない」のでは、「ない、」のでは、「ない、」のでは、「ない、」のでは、「ない、」のでは、「ない、」のでは、「ない、」のでは、「ない、」のでは、「ない、」のでは、「ない、」のでは、「ない、」のでは、「ない、」のでは、「ない、」のでは、「ない、」のでは、「ない、」の 改、統化を中心に河川上の特殊調 門は佐山殿及(京城府野)の野野 キー白の原理解服に接摘ひした歴

軍國女性の意氣

名に非常呼納の赤紙が飛べばカー

十七日年後八時から公舎状で時間。附非の名で直もに首相、鹽、海南。西大門署員に描つられた印鑑とは大時間に養みに川府では、蔵り披継した宣言交を再建します。十七日後京城隍に降りたところを

「二川を語」北支の風空にに一般。 作を祝め頭に南場一颗で所風の綿

干餘名衆集

払いて時間配綱の把握と信念の戦

中操指司三六大山

知事性間における南間性の側がに

仁川府主催

時局大會

知事的語における質問性の測示に、教育した

無談院を開催、「干除人が参管し」相、朝鮮、場び南山山や官、支那

一除本部裏庭において会里に附された(中)のさかな陣中風景―唇が

雄々し!國防婦人の家庭防空講覧

計画の後差単に附し版文館に小川 新たな感じそくつた、同死量は同 らんし思れ無残な版と化し今更に 四水羅宮長等に渡られて西水曜に

過せることして同三音の死骸はび 運ばれた、事件後既に一ヶ月を歴に無事引渡を了へ同二時理容縣に

間に能山渓頂に原導された費人屋 既義、安正大事的の沿人地直中連 資味を手が指りせた別人に私です 品を理解して以来一年間活動の理 のの見れない動で主人を施設、金 素機ガード附近の夜出頃で研究物 副で協力取制ベ中であるが十七日 2.は別時を前山岩と意味が形象 と配外な自由をして表現をピック 强机人——昨年八月十九日夜景域 **運業町四ノ三二四水面然に銀方を** させた住所不定的料五肌字の中

眞空ポンプ

機械材質工作に絶對的確慍あり

女……この事情を知つたに導さ 町に相川ボンチ、果て、男かな をしてみる けふの天気

「十七月后間」北支導域に境が観光した協和重要大調館人育年間は十八日在影明館人時間最高語 | ◆京城洋版図報台では、

時局大會を開き政府に懇請

滞析所を開き映画版などの演習に出し明空、異似者和画像の観音

全解に飛檄

せら、治(は必ず常者をさめて行ひ、遠く郷・子さんが十両・元町)ノニ図末柱の命はど、劉政を認弘所の記集ひを祀月二四。さんが十五間・同町・ノー元江区の、もし、劉政を認弘所の記集ひを祀月二四。 められ、真仏前歌にも関係的に乗一同六十一四、西小門戸城が臨事を、腹をギョコつかす男を本町場 里を置れて解床に出しむ将兵を取一切建さんが一回、 茶属群党職或一

**製料生態三十一四** 

◆京城漢声町一○五兩大門小殿校(巻)」と云ひ十四日午後五時ごろ 一般學調べたところ、住所不定金米 十六日夜本町の健心の中に情 大スリ

日のリーダーである内地の部外 と一心界をも似く始入の赤紋を探 れっ大和なでしこ。を吹かせること、別の中大地におし、近いでは、北中の内では、

記 投 及前の係指用 関語は博介本人来記 関語は博介本人来記

京日金内



+